諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会・地域協議会

平成２９年度第２回会議議事録

日　時：平成２９年８月２４日（木）１４:００～
会　場：諫早総合病院　６階大会議室
書　記：総務企画課　榎並竜大

○参加者　　別添資料のとおり（院外９名・院内３名・事務局３名）

≪議　事≫

［１］紹介率・逆紹介率について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１－８頁

４月の初診患者数８７２人に対し、紹介患者数７９５人で紹介率は９１．１%、逆紹介患者数９４２人で逆紹介率は１０８．０%

５月の初診患者数９２１人に対し、紹介患者数８３６人で紹介率は９０．７%、逆紹介患者数９２６人で逆紹介率は１００．５%

６月の初診患者数９８３人に対し、紹介患者数９０２人で紹介率は９１．７%、逆紹介患者数１，０２３人で逆紹介率は１０４．１%

（事務局）

地区別紹介患者割合の資料にて平成２７年度と平成２９年度を比較。全体で諫早市内が約７５%、それ以外が２５%の割合となっている。特に諫早市外が多い診療科は内科、消化器内科、泌尿器科となっており、諫早市内が約６５%、諫早市外が３５%程度となっている。また、泌尿器科については平成２８年に島原病院から医師が当院へ赴任してきたため、約１０%諫早市内の割合が増加している。

（長郷院長）

医師の異動等により患者数が大きく変わることがわかる。

［２］救急患者・外来患者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９－１２頁

救急外来患者数は４月５９５人、５月５６８人、６月５６２人と前年度比較で若干の増加傾向となっている。

救急入院患者数は４月３０７人、５月３３６人、６月３１３人と前年度比較で大きな変化はない。

１日平均外来患者数は４月６１９．７人、５月６２７．２人、６月５８４．８人。

（事務局）

毎月、救急患者の内、入院に至るケースの割合は３０%程度だが、平成２９年度５月、６月は入院に至る割合が３７%と高かった。

（諫早消防署　川合様）
平成２９年実績で、昨日までに諫早総合病院へ救急搬送した件数は１，４１７件でした。また、県央消防本部のデータによると、平成２８年の諫早総合病院への患者搬送の割合について、軽症者４３％、中等症４７％、重傷者９％、死亡１％という結果でした。
（長郷院長）
医師からの意見であるが、矢上や口之津救急隊からのファーストコールが当院にくるのはどうなのかという声が出ている。
（諫早消防署　川合様）
通常は担当区域の病院に連絡するが、患者が病院を希望したりもする。今後検討します。
（元諫早市教育長　平野様）
患者が病院を希望する人が多いのか？
（諫早消防署　川合様）
少なくはないが、希望病院を言われた場合には輪番日で当番病院が決まっている旨の説明はしている。
（元諫早市教育長　平野様）
救急車の件数は夜間帯が多いのか。
（諫早消防署　川合様）
利用率は活動時間が長い昼間が多い。自分の意見としては夜間帯では重傷者が多いように思われる。

［３］共同利用（開放型病床利用等）について・・・・・・・・・・・・・・・１３頁
共同利用を行った医療機関の延数２、そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延数２で共同利用率１００％。対象病床数１，２７４床、利用病床数１５床、共同利用率１．１％となっている。
放射線機器の共同利用はCTが４月９．６％、５月７．９％、６月１１．６％。
MRIは４月１３．７％、５月１６．７％、６月１１．８％となっている。
（長郷院長）
なかなかMRIの利用率が上がらないが、今後増設予定なので、これにより利用率を上げたい。

［４］諫早市こども準夜診療センターについて・・・・・・・・・・・・１４－１５頁
患者数は４月３３８人（１１．２７人／日）、５月２９７人（９．５８人／日）、６月３１５人（１０．５０人／日）となり、大きな変化はない。
（長郷院長）
こども準夜診療センターの利用率は見てのとおり大きな変化はない。
小児の外科系（外傷）の患者が、こども準夜センターで診てもらえると聞き、来院

されたことがあった。準夜センターは基本的に内科のみ。そこの判断は非常に難しいところがあるので注意してもらいたい。

[５]患者相談実績について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６頁

患者相談実績では、４月８３４件、５月８１９件、６月８５９件となっており、前年度と比較しても増加していることがわかる。

（事務局）

５月の在宅ケアに関する相談が大幅に増加しているが、患者の社会的要因などにより１人あたりに対する介入件数が増加したため、このような結果となったと思われる。

認知症関係相談も高齢者運転免許に関する法律改正が行われたことなどの影響もあり、相談件数が増加している。

（長郷院長）

医療・介護支援センターもできるので期待している。

（諫早医師会　山口様）

高齢者の運転免許関連の相談、受診は増えているのか。

（長郷院長）

何件か相談はあり、対応できている。まずはかかりつけ医への相談を促しているが、かかりつけ医で対応ができないと言われた場合などは、当院で対応している。

[６]研修会開催状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７頁

平成２９年度の研修会開催状況は、医師等の症例検討会を５部門、医師以外の研修会等を８部門で実施した。

（諫早消防署　川合様）

消防署のほうでも月１回の勉強会をしており、長崎医療センターの医師に来ていただいたりして実施しているので、定期的に勉強会を実施してもらえれば勉強になる。

（県央保健所　松本様）

行政でも認知症に関する対応が増えており、それに対応できる専門職がいないため認知症関係の研修等があれば参加させてもらいたい。

[７]その他

（山﨑事務部長）

地域医療介護総合確保基金事業としてICTについて申請ができればと思い調べたところ、今回、諫早医師会から申請した。また、実際のICT利用について、広島で実際にICTを運用しているDVDがあるので事例紹介したい。

約５分程度DVD鑑賞。

（長郷院長）

今年１０月より脳神経外科の診療を開始する。１０月からは週１回外来のみの診療予定。平成３０年４月より本格開始予定。救急の受け入れは来年４月からになる。

（事務局）

次回開催は当院の都合上１１月９日（木）にお願いしたい。